

## 2/23 韓国民民主主義の胎動—農業と若者就労、 I ターン

2/23 鄭さん農場にて。プルム学校の教員をやめ2人で農場を作る。学校のある洪東面から離れた村であえてスタート。

8つのビニルハウスでレタス、セロリ、チシャなど栽培。初の生産者組合、全国の農業に若者1.3%しかいないが、就農者のインキュベーション施設として注目される。450万円出資すれば農場が持て、10年で還元、若い人に報酬も払える。土地は財団が10~20年の定借で斡旋、若い人でも早ければ2~3年で自立。

有機栽培で売るのは大変では？→販路などは生産者100件で共同法人を作り、ローカルフーズ(地産地消)、給食、生協、産直などを手がける。ビジネスライクにはしないとのこと。

若者が独立に失敗したら？→戻ってくればいい。

何時間働いている？→夏場朝5時から。暑い日中は仕事しないけど。夕方4時から毎日夜間学校が開かれていて、哲学、農業、天文、文学いろんな分野の勉強会がある。講師は学校の先生、住み着いている人、たくさんいる！

若い就農者が明日から北海道に交流に行く。村の生協で豆腐チゲもごちそうになりました。

